

あわみなと通信

暮らしを支える港湾と空港の話

はやいもので今年も年末近くとなり、何かとあわただしくなりましたが、皆さま如何お過ごしでしょうか。「あわみなと通信」冬号をお届けします。(お手元に届く頃には年が明けています。)

さて今回は、個人的な令和元年の振り返りをしてみたいと思います。

①台風19号の記録的大雨による関東、甲信、東北での甚大な被害に代表されるように、全国的に災害が目立った年となりました。徳島の港湾・空港でいえば、随分と離れて北上したにもかかわらず、うねり(長周期の波浪)によって施設が被害を受け、うねりの怖さを再認識しました。②阿南高専で出前講座の機会を得、また、学識、地元の皆さまと一緒に徳島小松島港の中期構想(案)を創る機会を得て、自らの浅学を再認識しました。③小松島での一人暮らし、朝は自炊、昼はお弁当、夜と土日は外食が多くなります。小松島の讃岐うどん、お好み焼きに絶品のものがあることを、みなとオアシス(Kocolo)で売っているフィッシュカツ、ちりめんの美味さを再認識しました。結びとなりますが、今年も「あわみなと通信」を可愛がっていただき、本当にありがとうございました。



小松島名物 フィッシュカツ



和田島 ちりめん

来年も益々の紙面の充実を図りたく思っておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは皆さま、よいお年を迎えられますよう(よいお年になりますよう)、ご安全に!!

令和元年12月20日

小松島港湾・空港整備事務所長 小田 幸伸

南海フェリー新造船「あい」就航！！

南海フェリーは、徳島小松島港と和歌山港を結んでいるフェリー「つるぎ」「かつらぎ」の2隻を有しており、このたび、「つるぎ」が22年もの長きに渡る運行を終え、新造船「あい」が就航しました。

12月13日、新造船「あい」の内覧会が開催されましたので、ほんの少しですが紹介します。

「あい」の名前は一般公募の中から選ばれ、「I」「愛」そして徳島県の名産「藍」が由来となっており、外観は藍をイメージして、印象的な青色のデザインとなっております。

また、船内は女性専用のスペースやパウダールーム、見晴らしの良いグリーン席やWi-Fiの完備等、様々なニーズに対応して、快適な旅をサポートする配慮が感じられました。皆さんも機会があれば乗船してゆったりとした船旅を体験してみたいはいかがでしょうか？



新造船「あい」外観 船尾には大きく「愛」がデザイン



パウダールーム



南海フェリー
ターミナルは
ココ!

GeoEye-1©2016 DigitalGlobe, Inc.
画像提供: 日本スペースイメージング